

希望の杜だより

社会福祉法人
希望の杜福祉会
2023.3.13 発行
第35号
TEL: 0246-
38-6201
<http://kibounomori.or.jp>

法人
掲示板



檜葉町でグループホームを再開して1年が経ちました。現在、2名の方が入居中です。

入居希望者・見学者お問い合わせはこちらまで

憩いの家

TEL0240-26-0133
担当 松本

「新年度へ向けて」

混沌とした時代の中

―福祉に求められる事とは―

理事長 菅原 隆

「コロナ感染」という嵐を無事くぐり抜け新年度を迎えることができるのは、利用者・家族・職員の頑張り・努力と多くの協力者の温かいお心のお陰です。

いま、障がいを持つ方々を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。「コロナ感染拡大」は相変わらず続き、物品は2〜3割り値上げされ、既に年金・医療・介護などの社会保障が改悪され、今後「総合支援法」の見直し等々で利用者支援や事業運営も一層困難になることが考えられます。



さらに、年末には「安保3文書」の閣議決定が突然され、「戦争をしない国から戦争する国へ」と国の方向が大きく転換されようとしています。

これにより、消費税を含む大増税や福祉・暮らしの予算の大削減が予想され、障がいを持つ方々が真っ先に影響を受けることとなります。

戦争になれば、真っ先に犠牲になるのは障がい者を持つ方々や高齢者・子供達であることは77年前の戦争やウクライナで証明されています。そういう状況のなかで、平和を求めながら障がいを持つ方々が地域社会で生き生きとした生活ができるように、支援に全力をつくす所存です。

早川篤雄さんを慎む

被災した檜葉町への

支援に力を尽くす

評議員の早川篤雄さんが令和4年12月29日、亡くなられました。

檜葉町からいわき市内の高校に教員として通っていたときから、けやき共同作業所に自分で作った米を提供されていました。

退職後は宝鏡寺の住職に専念する傍ら檜葉町に希望の杜福祉会の地域支援センター「結いの里」豆腐製造・販売の「ふたばの里」グループホーム「憩いの家」設置と運営に奥様の千枝子さんと共に多大な尽力を尽くされました。

原発大事故後、ご夫妻でいわき市に避難し、自ら困難な生活も顧みず、平沼の内地区内に3施設を移して障がい者支援事業を続ける先頭に立ちました。



平成27年、檜葉町帰還の際には、いち早く帰町し町民の方が不安なく暮らせるよう憩いの場を設け、その3年後には以前開所していた「ふたばの里」の始動へ全力を尽くしてくださいました。

この間、理事、評議員として亡くなられる直前まで、希望の杜福祉会の運営・発展に奮闘されました。

令和5年1月7日、多くの町民、職員が参列してご冥福を祈り、永遠のお別れをしました。

(評議員 伊東達也)



↑檜葉町グループホーム「憩いの家」の開所式 2008年12月撮影



↑震災後、檜葉町からいわき市平沼ノ内で3施設臨時開設 2011年8月撮影



きぼうの里

増子 玄太さん(30歳)

きぼうの里に通いながら、陶芸教室で陶芸の制作を行っている。ギャラリーに展示や販売会を行うなど、アーティストとしても活動している。

就労継続支援 B 型事業所 きぼうの里
所在地/いわき市平字沼ノ内諏訪原 2-5-7
連絡先/0246-38-6777

増子さんへインタビュー

質問: きぼうの里では、どの作業が好きですか?

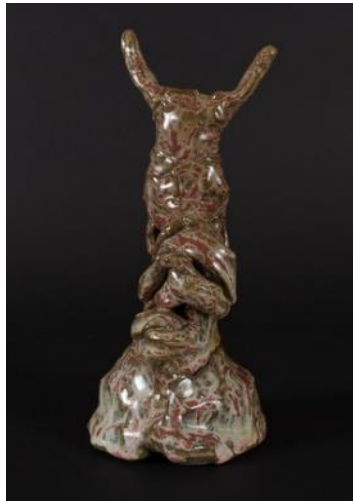
増子さん: ワイヤーの仕事です。

質問: 陶芸の作品はどこで制作していますか?

増子さん: 山にある教室です。みんなと作っています。

質問: 作品を制作している時はどんな気持ちですか?

増子さん: 楽しいです。これからも作りたいです。



作品「祈る」



作品「心ようかい」

「祈る」は、第2回 Art to You! 東北障がい者芸術公募展企業賞受賞(久保田本店賞)致しました

杜のどーなつ NEWS

令和4年度授産施設新製品(商品)開発コンクールが、令和5年2月4日に「ホテル華の湯」(郡山市熱海町)で開催されました。当法人の授産施設「杜のどーなつ」も応募した所、特別賞(福島民報社賞)を受賞致しました。

今回受賞した商品は「豆乳焼きどーなつ もりのわ ココナツパン」です。季節限定のどーなつになりますのでお見掛けの際にはぜひご賞味下さい。他にも定番商品から新商品・季節限定商品など日々美味しいものをお届け出来るよう一生懸命利用者・職員が作りしておりますのでお立ち寄りください。

特別賞を頂きました!!!



就労継続支援 B 型事業所 杜のどーなつ
所在地/いわき市平字大工町 1 1 - 9
連絡先/0246-84-9080

【 編集後記 】

庭の梅が3輪開花しました。ここ2日の暖かさで開花したようです。月末には見頃を迎えるでしょうか? 春はもうすぐです。春と言えば出会いと別れの季節です。旅立つ人を見送り、新しい出会いに胸膨らませる季節です。今年の春こそは、コロナ禍に苦しめられた長い日々にも別れを告げ、明るい希望に満ちた出会いに期待しましょう。春はもうそこまで来ています。

広報委員会